令和７年４月１日
校長　速水　素子

令和７年度　吹田市立藤白台小学校　学校経営方針

学校目標

〇自分の夢を持ち、実現のために努力する心豊かな人を育てる
〇仲間と力を合わせ、明るい未来を築いていける人を育てる

地域の協力

・子どもの安心安全のための見守り
・子どもたちが参加できる楽しい地域活動
・地域の大人として、子育ての相談などの保護者支援
・学校と連携した地域活動

家庭の協力

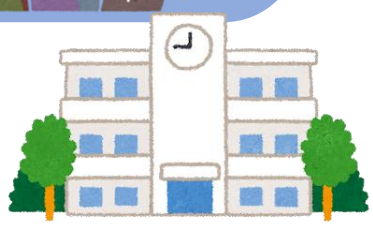
・子どもへの前向きな声かけ
・子どもの将来の目標づくりの支援
・友だちや周りの人の気持ちを考える相手意識の醸成の支援
・寛容な心を育てる声かけ
・学校と連携した子どもへの指導

めざす子ども像

・明るく前向き　　・友だちと協力
・思いやりと寛容　　・目標に向かって努力

子どものめあて

「あかるい子」
「やさしい子」
「がんばる子」



めざす学校像

・明るく楽しく安心できる学校
・相手への思いやりのある学校
・寛容な心を大事にする学校
・友だちと協力する学校
・子どもの主体性を大事にする学校
・子どもの努力を認める学校
・保護者や地域と協力する学校

めざす教師像

・いつもにこやかで余裕のある先生
・思いやりや寛容な姿を褒める先生
・友だちと協力する機会をつくる先生
・知的好奇心を育てる授業をする先生
・子どもの学びの目標を一緒に考える先生
・子どもなりの頑張りを誉める先生
・保護者と一緒に子どもを育てる先生

学校教育目標・めざす学校を実現するための手だて

◎組織で動く
・目標を共有し、よりよい方向へ向かうよう教育者として努力する。
・校務分掌の担当教職員が役割を意識して、連絡・報告・相談をする。
・学校全体にかかわることは、企画会議に出して事前検討をする。
・教育活動を前向きに見直し、みんなで協働的に改善する組織を目指す。

◎授業の充実
・教室の学習スタンダードを作り、授業に向かう環境を整える。
・「わかる」「できた」実感のある落ちこぼしを生まない授業をめざす。
・児童が意欲的に探求し、主体的になる授業の工夫や改善をする。
・児童一人ひとりの特性を理解し、インクルーシブを意識した指導をする。
・何でも良いことは真似る。研究授業の成果は取り入れる。

◎研鑽
・教育のプロとして常に専門知識や技能を取り入れ、日々の教育活動に活かしていく。
・指導方法や技術を学び、ライフステージに合わせて授業研究を行う。
・一人一台のタブレットを生かした授業を研究していく。

◎教育公務員としての自覚
・児童への振る舞いや言葉遣いなど、教育に携わる人間としての自覚を持つ。
・いざというときのことを考え、常に危機管理意識を持って、教育活動にあたる。

◎家庭、地域、関係諸機関との連携
・保護者とコミュニケーションをとって、協働して子どもの教育をしていく。
・関係機関との連携を密にして、情報を共有して対応する。

◎心と体の健康
・子どもたちが安心して学校に来られる集団づくり、安全な学習環境をめざす。
・子どもの前向きな発言や考えを称賛して、教室にあたたかい風土をつくる。

◎いじめの早期対応
・児童に自分たちでトラブル解決をする力をつけるため、まずは教師が納得できる対応を意識して範を示す。
・いじめの芽をしっかりと見取り、小さな芽のうちに対応する。問題のある場を見逃さない、流さない。
・いじめ事案が起こったときは、自分だけで判断せずに学年や担当、管理職に相談する。
・外国籍の児童や外国にルーツを持つ児童がいることを意識して指導を行い、児童の人権意識の養成に努める。

◎支援学級の充実
・支援学級の子どもたちや配慮を要する子どもたちが安心して学習できるように、インクルーシブな授業を意識する。
・支援学級在籍の児童が偏見やいじめにあわない学校風土をつくる。
・支援学級について学ぶ場を持つ。